

【プロジェクト名】学び続ける学校トップリーダーの資質向上事業**1 プロジェクトの目的・概要**

教職大学院専門部会は、佐賀県教育委員会と佐賀大学大学院学校教育学研究科（以下、「佐賀大学教職大学院」）の連携・協働により、「学び続ける教師」の育成を目指すとともに、佐賀県における教職員の生涯学習システムを構築していくことを目的とする。

本事業では、佐賀県における「チーム学校」の実現に向けた推進役となる新たな学校管理職を「学校トップリーダー」と位置づけ、子どもを支えるネットワークの中の「学校」を意識し、多様で複雑な教育課題に対して組織的・効果的な対応を行うことができる「チーム経営」のマネジメント力を高めるため、佐賀大学教職大学院と佐賀県教育委員会が組織的に連携・協働して、学び続ける学校トップリーダーの資質能力の向上に取り組む。

2 令和3年度の実施実績**(1) 研修会の概要**

研修プログラムは、セッションIからIVの全4回（1セッション3時間）の構成であった。具体的には、佐賀県教員育成指標で掲げられた10種類の資質のうち、「学校組織の理解と運営」、「指導育成力」、「危機管理・広報」、「判断・決断力」という4つを取り上げた。研修はオンライン配信型で行った。講義動画を各自で視聴し、講義の感想・質問を提出してもらい、後日講師からの回答をメールで配信した。

(2) 対象、人数、期間、会場、日程、講師**対象・人数：**

研修対象者は、佐賀県の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の校長・副校長・教頭とし、定員は各セッション30名程度であった。また受講は4つのセッションの中から自由に選択できる形をとった。

期間：

令和3年9月14日～12月31日

日程・会場・参加人数・講師：

セッションI：9月14日～10月8日 ※講義動画の視聴可能期間

受講者数41名

平田 淳（佐賀大学大学院学校教育学研究科・教授）

セッションII：10月5日～29日 ※講義動画の視聴可能期間

受講者数39名

鈴木建生（ユマニテク短期大学・学長）

セッションIII：11月9日～26日 ※講義動画の視聴可能期間

受講者数45名

田代英毅（牟田法律事務所・弁護士）

セッションⅣ：12月7日～31日 ※講義動画の視聴可能期間

受講者数 41名

梶山稔弘（ビズパワーサガ・代表）

3 令和4年度の実施計画

令和4年度においても、学校トップリーダーを対象として、佐賀県教員育成指標に基づき、佐賀県の教育課題、学校における働き方改革の要請に対応する力を育成する研修プログラムを開発し実施する。具体的には、佐賀県教員育成指標で掲げられた10種類の資質のうち、「人材育成」、「管理・統率力」、「危機管理・広報」、「折衝・調整力」という4つを取り上げ、研修を行う。研修の形態については、依然新型コロナウイルスの影響が懸念されるため、今年度もオンライン配信型で行う。具体的な内容については、開発連携協議会及び開発ワーキングチームで検討を行う。

(1) 研修対象

研修対象者は、佐賀県の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の校長・副校長・教頭とし、定員を各セッション30名程度とする。4つのセッションのうち受講したいものを自由に選択してもらう。

(2) 研修内容

セッション	研修内容	予定講師
セッションⅠ 9月13日（火）～30日（金）	人材育成	学識経験者
セッションⅡ 10月4日（火）～21日（金）	管理・統率力	学識経験者
セッションⅢ 11月8日（火）～25日（金）	危機管理・広報	弁護士
セッションⅣ 12月6日（火）～23日（金）	折衝・調整力	企業経営者

※それぞれの期間は研修動画を視聴できる期間である。